

「第13回物流関連ゼミ学生による研究発表会」テーマと概要

1. 東京海洋大学 黒川ゼミ

【テーマ】物流業界におけるSDGsへの取組状況と課題～持続可能な社会の実現に向けて～

【概要】"世界共通の持続可能な開発目標（SDGs）の達成年2030年まで、およそ残り8年となった。物流業界では労働力不足やトラックのCO2排出といった社会的課題を抱えていること、物流は私たちの生活や経済活動を支える重要な役割を担っていることから、物流業界においてもSDGsに向けて取り組む必要がある。

そこで本研究では、物流企業にアンケート調査を実施し、SDGsの各目標に対する取組状況を分析する。そして、この分析結果から今後の取組推進に向けた課題や対策について検討結果を報告する。

2. 神奈川大学 齊藤ゼミ

【テーマ】「災害時における円滑な支援物資の供給」

【概要】日本では大雨や地震などの自然災害が増えている。災害時には、ライフラインが寸断され、一刻も早い救助活動や支援物資の供給が求められる。そこで支援物資の供給に焦点を当て、過去に発生した災害をもとに災害対応の課題を探る。横浜市神奈川区をモデルに、災害発生時の円滑な配送、又は集積所の運営方法など、自治体や物流企業を主体とした支援物資の供給体制を検討する。

3. 福岡大学 阿比留ゼミ

【テーマ】脱アナログ！～特定の作業員に依存している現場から誰でも管理、作業できる現場へ～

【概要】現在、物流業界の人手不足が叫ばれている中で大手物流企業はアルバイト・外国人就労者等の雇用だけでなく、大資本を元にした自動化システムを構築して行うなどの対策をしている。しかし、中小企業は熟練の作業員、長年の知識によるアナログな管理方法に依存しているため、誰でも作業できる現場、倉庫管理が作られていない。私たちは福岡にある株式会社博運社の倉庫を例にして誰でも管理でき、同じように作業できる倉庫現場のシステムを学生の力でお金をかけずに作り上げます。

4. 城西大学 上村ゼミ

【テーマ】『宅配便の新サービスの提案』

【概要】日本の宅配便はクール便や、細かな時間指定など様々な新しいサービスを提供してきた。最近のコロナ渦でも、「置き配」などの新しいサービスが一般的になってきた。そこで、本研究では最近登場した宅配便のサービスに対する評価や、新たなサービスの要望等について消費者にアンケート調査を行った。その結果からの考察に加え、中国の事例等の調査を踏まえ、消費者にとって必要な宅配便の新サービスについての提案を行う。

5. 関西大学 飴野ゼミ

【テーマ】新モビリティ革命が生み出す変化と社会課題への挑戦

【概要】デジタル技術の発展は社会に変化をもたらし、その拡がりにはモビリティ分野にも波及している。なかでも、シームレスな移動で新たな価値や移動体験を提供する「MaaS」に向けた取り組みが各国で加速している。MaaSの普及はこれまでの都市構造を変え、物流のあり方までも変えていく。本研究では、日本におけるMaaSの現状を分析し、社会課題解決の1つの方策としての新たな未来の形を提案する。

6. 朝日大学 土井ゼミ

【テーマ】トラック事業における複数の場所を活用した休憩確保策

【概要】トラックステーションが減少している現在、トラックドライバーの休憩場所の確保が困難になっている。また、場所を確保できたとしても交通状況や駐車場の混み具合によって休憩できない場合がある。そこで本研究では、多くのドライバーに休憩場所として使われているコンビニ駐車場に加え、道の駅や施設の駐車場など複数の休憩場所を活用し、ドライバーの休憩場所を確保する策を探る。